

かなえ

第6号(平成24年5月1日)

医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

千葉県松戸市日暮1-16-2 日暮ビル2階 047-312-8830

<http://www.yabashirasawa-clinic.com>



今月号の絵は「坂川の春」です。ゆるやかにカーブする坂川の向こうに松戸市街が見えます。夏に行われる「松戸宿坂川献灯まつり」では、灯籠が流されます。昔と今が交差する風景を切り取った一枚です。

作:松戸市在住 水彩画家 菅谷功氏

意味のある乳癌検診を 乳腺外科 渡辺修

本年4月からようやく松戸市でも35歳~39歳の女性に超音波による乳癌検診が導入されました。平成20年の時点で、千葉県内で超音波検診を導入していない市が22%あり、松戸市はその22%に入っていました。残念ながら他の自治体と比べてかなり後れを取っていたといわざるを得ません。昨年より松戸市医師会の乳癌検診部会委

員に私が就任し、理想的な乳癌検診の普及によりやく第一歩を踏み出せた感じです。

なぜ超音波検診が必要なのでしょう？30歳代や40歳代の半数近くの女性は乳腺の密度が濃いためにマンモグラフィーをとってもしこりが乳腺の影に隠れて見えないため乳癌ができていても見逃されてしまうことがあるからです。乳腺の密度が濃い方(若い方)には超音波が有力な検査法となるのです。そういうと超音波が万能のようですが、マンモグラフィーでしか見つけられない乳癌もあるため、超音波検査とマンモグラフィーを毎

年交互に受ける事が推奨されています。ピンクリボン運動などで「マンモグラフィーを受けましょう！」というキャッチが目立つため、乳癌検診＝マンモグラフィーと思いがちですが、超音波検診も有用なのです。

触診のみの乳癌検診というのは、検診による乳癌の死亡率減少効果がないとするデータもあり、乳癌の早期発見という点からも疑問視されています。実際、触診でわかる乳癌は超音波やマンモグラフィーでわかりますし、本人もほとんどの場合しこりを自覚しているため、本来であれば検診対象ではないことが多いのです。検診はしこりなどの自覚症状がない方が受けるもので、しこりを自覚していれば保険診療として「乳腺外来」を受診しなければいけません。“触診”という医療行為は特殊な医療機器を使用しないため医師であれば誰でもできると思われがちですが、実はそれが非常に難しく、何千人もの乳癌を触診してきた私です。自信がない場合もあるほどです。しかし、今の制度では、市に届け出ればどこの医療機関でも触診による市検診（乳癌検診）をやってもいいことになっていて、ほとんど乳癌に触れたことのない医師でも行っているのが実状です。例えば何か決まった商品を買うのであれば、どこの店で買っても商品は同じですが、ケーキやラーメンを食べようと思ったら美味しい店を選んで行きますよね？店によって味が違うからです。触診で乳房に異常があるかどうかを判断できるようになるには、かなりのトレーニングを要するため触診をする医師によって“差”がでるのは当たり前のことです。**医師**

は万能ではありません！「乳癌検診やっています」と看板に書いてあってもちょっと待ってください。その先生は乳癌の触診経験あるいは診療経験がありますか？一方、市で行っているマンモグラフィー検診は資格あるレントゲン技師が撮影し、マンモグラフィー読影資格を持っている医師が2人で判定を行っていますし、超音波検診もトレーニングを受けて資格を持った技師が行い、専門医が判定する仕組みになっているため基本的には“差”はできません。つまり検診の「質」が保証されているのです。

では、なぜまだ触診による検診をやっているのか？どこで受けても同じかのようなシステムはおかしいのではないのか？また、乳癌の触診経験がほとんどない医師でも検診を施行できるのはおかしいのではないのか？その通りです。しかし、システムを急に大転換させることはなかなか難しく、少しずつ理想の検診を目指して私が努力していきま

す。皆さんは、なるべくマンモグラフィー検診や超音波検診をお受けください。マンモグラフィーあるいは超音波による市検診では日時や場所が指定されているため、都合がつかないなどの理由でなかなか受けることができないかもしれません。止む無く触診検診をお受けになる方は、その時あるいは別の機会に自費検診としてでもマンモグラフィー、超音波を受けることをお勧めします。

検診で異常と言われた時に受診すべき医療機関が「精密検査実施機関」です。検診以上にその質が問われるところです。この医療機関として名乗りを上げる資格も松戸市では長い間、「マンモグラフィーが撮影できること」というのが条件でした。検診は触診のみだったとはいえ、マンモグラフィーを撮っても精密検査にはならず、超音波ですらに検査して必要あれば細胞検査あるいは組織検査ができないと精密検査とはいえません。遅れながら今年4月より、松戸市でも「精密検査実施機関」の資格として「超音波検査ができて穿刺細胞診も施行できること」を条件に加えました。一歩前に進めるだけでも結構大変な作業なのですが、全国的には「精密検査実施機関」にさらに厳しい基準を設ける動きも出ています。誤診による悲劇を避けるために乳癌検診学会と乳癌学会が共同で「精密検査実施機関基準」を作成しました。**乳腺専門医が常勤としていたり検査機器の基準などが定められています。**岡山県、広島県などすでにこの基準を採用している自治体もみられ、今後、各自治体に採用してもらおうように呼びかけています。平成15年8月24日の朝日新聞で、“乳癌、検診で見落とされ…39歳千葉の女性「余命半年」という記事を覚えている方も多いと思います。真面目に検診を受けている方が不幸な結果にならないように皆さんにも検診の在り方、正しい受け方などを理解してもらい、検診制度そのものも理想的なものに近付けられるように乳腺専門医として、また乳癌学会評議員としてさらに努力していきたいと思っています。

大腸内視鏡検査を受けてみませんか？ 看護師 高橋恵美子

4月中旬にやっとなんか桜が一気に咲きそろいました。梨花、花みずき、八重桜などの花々が楽しめる季節となりました。

新生活も1ヶ月を過ぎ、気付かないところで疲れが出る頃ですね。私達看護師は、胃カメラや大腸カメラで先生方のお手伝いをしています。

胃カメラに比べ、大腸カメラは「気になるけれど・・・」と思いつつ、ためらう方が多いのではないのでしょうか？胃カメラと違って大腸カメラは、検査の過程での個人差が大きく、不安に感じられる要因となります。

大腸カメラを初めて受けた70歳代の方のお話をお伝えします。

やはり不安は強かったのですが、内科の先生とお話を重ねて、検査当日は朝からクリニックに来ていただき、ポリプ切除ができました。

「やって良かった。私はまだやりたいことがあるし、一人で生活できる喜びを味わっていたいです。」と言っておられました。

検査はご本人の理解と決断がとても重要なポイントになります。

我々スタッフも最良の状態で行えるようお手伝いさせていただきます。

是非、先生方にご相談ください。



新緑

医事課 日比野亜矢子

新緑の季節になりました。

私は桜が咲き終わり、梅雨に入る前の5月の時期が一番好きです。理由は2つあります。

1つは、花粉症のストレスから解放されます！

私は花粉症なので、2月の後半ぐらいから薬を服用し、マスクや眼鏡で身を守るのですが、それでも目のかゆみや鼻水がひどい時にはかなりストレスがたまります。そんなストレス生活から解放されるのです！！

2つめは、木々の若葉に癒されます！わざわざ遠くに出掛けなくても、道端や公園で、みずみずしい若葉を見ることができます。

ある本に“木や草花は与えられた場所で精いっぱい生きているから美しい”と書いてありました。優しい黄緑色の若葉が、さわさわと風に揺れているのを見ただけで心が癒されるのは、木々が精いっぱい生きているからでしょうか。わたしも草花のように“何事にも精いっぱい”でありたい。そして、大好きな新緑の季節を満喫したいと思います。

<クリニックニュース>



4月19日(木)外来終了後、全体会議がありました。病床認可を得てから、初めての会議で、職員全体で取り組んでいくよう話し合いました。

八柱三和クリニック診療医師担当表

		月	火	水	木	金	土
乳腺外科	午前	渡辺 修	渡辺 修	(手術)	渡辺 修	渡辺 修	渡辺 修
	午後	渡辺 修	渡辺 修		(手術)	渡辺 修	
整形外科	午前		幸島雄太		金子 晴香		早田浩一郎 (2, 4)
	午後	小酒井治 (2, 4)	幸島雄太		金子 晴香 (2, 4)		
内科 1	午前	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫
	午後	斉藤丈夫		斉藤丈夫	(在宅)	斉藤丈夫	
内科 2	午前		渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	杉崎良親
	午後		渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	(高林克日己)	
内科 3	午前	鈴木明子		鈴木隆弘	鈴木明子		高林克日己
	午後	鈴木明子	仲野総一郎		鈴木明子	鈴木明子	
胃カメラ	午前	渡辺英二郎		鈴木明子		鈴木明子	
大腸カメラ	午後	渡辺英二郎		鈴木明子		渡辺聡枝	

《お知らせ》

内科： 斉藤丈夫医師

5月 17 日(木) 午前の外来は糖尿病学会参加のため、休診とさせていただきます。

内科：高林克日己医師

5月 11 日(金)の外来は出張のため、休診とさせていただきます。

編集後記

風薫る5月。八柱の21世紀の森と広場(松戸市の公園)では緑が燃えています。樹木により様々な緑があって、織りなす森は絵のようです。(武蔵野線の車窓からも見えます)野鳥が多く、鶯の鳴き声が聞こえてきます。自然生態園の自然観察舎には望遠鏡や野鳥ガイドブックが備え付けられていますので、野鳥の姿を探して楽しむこともできます。去年は、「カワセミ」を見ました。水辺の宝石と呼ばれるだけあって、美しい鳥でした。今年も遭遇するでしょうか？ウォーキングやジョギングも楽しめる、行きつけ？の公園です。

鼎会では病院計画を粛々と進めています。発表までは、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。総務：中野三代子